

# MCN REPORT

地域交流センターの活動

～ 県内唯一の県立大学としての  
使命を果たすための拠点として～

Vol. 37  
2018.11



出前講座(1頁)



みかん収穫(6頁)

## 主な内容

地域交流センターの活動を紹介します	1・2
連携協力協定病院紹介(松阪中央総合病院)	4
平成29年度業務実績評価	6
みかん収穫(法人化記念植樹「みえ紀南1号」)	6
さらなる発展と人材育成の充実に向けて	裏表紙



# 地域交流センターの活動を紹介します

～県内唯一の県立大学としての使命を果たすための拠点として～

県内唯一の公立大学である本学は、三重県の看護教育・研究の中核拠点として、地域の保健・医療・福祉の向上への寄与をめざしています。

今号では、本学の地域貢献活動の拠点となる地域交流センターの活動を紹介します。

## 主な取組

### 1 県民を対象とした取組

#### ① 公開講座 <年3回：延1,166名参加（H29）>

県民向けの講座を開催しています。

#### ② 講師派遣 <延2,738名の県民が参加（H29）>

本学教員が県内各地で出前講座等を実施しています。

##### 【出前講座の例】

- ・子どもの自己肯定感を育てる関わり方
- ・楽しく・おいしく減塩しましょう！
- ・看護の仕事について（小・中学生対象）
- ・職場のメンタルヘルス

#### ③ 教員提案事業 <14件：延685名の県民が参加（H29）>

本学教員が各自の専門性を活かして事業提案し、講座等を実施しています。

##### 【教員提案事業の例】

- ・県・市町保健師の実践能力向上研修
- ・健康づくりのための運動指導講座
- ・英語で話そう



H30第1回公開講座



出前講座の様子

### 2 県内の看護職のスキルアップを対象とした取組

#### ① 看護研究支援 <4種類の支援を実施（H29）>

看護職員の研究能力向上のための研修、研究への支援を行います。

#### ② 県からの受託事業 <助産師（新人・中堅）・認知症対応力向上等の研修：延361名参加（H29）>

県からの受託により、看護職員の実践能力向上の研修等を行っています。

#### ③ 認定看護師教育課程（認知症看護）の開講

看護技術と知識を用いて水準の高い看護が実践できる看護師の育成を行っています。



病院勤務の医療従事者向け  
認知症対応力向上研修



認定看護師「認知症看護」入学説明会

### 3 卒業生を対象とした事業

#### ① 卒業生のきずなネットワーク

本学卒業後1年目、2年目の卒業生を対象とした茶話会を開催しています。



卒業生のきずなネットワーク



# 地域課題解決に向けた医療機関、県（設置団体）との連携の取組例

～ 認知症ケアの質向上をめざした取組 ～

## ◆ 本県の現状（平成 28 年度時点）

- ・ 認知症患者数 増加見込み→認知症看護ニーズへの対応が急務
- ・ 認定看護師<sup>※1</sup>（認知症看護分野）登録者数 5 名（全国順位 38 番目）〔H28.5 現在〕
- ・ 三重県の高齢者比率 28.5%（全国平均 27.3%）〔H28.10.1 現在〕（総務省調査）
- ・ H 28 年 10 月「認知症サミット In Mie」を開催（県として非常に高い問題意識）

※1 認定看護師

日本看護協会が策定した資格で、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて、水準の高い看護が実践できる看護師

## ◆ 課題

- ・ 認知症看護の質向上
- ・ 認知症への対応力の向上
- ・ 認知症への理解の拡大

## 地域課題解決に向けて県内医療機関、設置団体と連携



## ◆ 本学のこれまでの成果

- ・ 認定看護師（認知症看護分野）登録者数 24 名（全国順位 17 番目）〔H30.8 現在〕  
→ 県内の認定看護師登録者数（認知症看護分野）は開講前（H28.5）と比べ 4.8 倍増
- ・ 県からの受託事業「看護職員向け認知症対応力向上研修」「病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修事業」：  
平成 29 年度受講者 192 名（4 回実施）
- ・ 平成 29 年度第 2 回公開講座「認知症予防についてーコグニサイズを楽しもう」：受講者（県民対象）330 名
- ・ 平成 29 年度第 3 回公開講座「目で見てわかる認知症ケア」：受講者（県民対象）336 名

▶ 県民の皆さんや県内の医療従事者の方々への認知症に対する理解や支援が広がってきています

## 地域交流センターへのお問い合わせ先

地域交流センターは大学院棟 1 階にあります。全教職員による地域貢献をめざした取組を支援する事務局の役割を教職員が担っています。皆さまのお問い合わせをお待ちしております。

詳しくは、本学ホームページの「地域交流センター」ページをご覧ください。

地域交流センター

TEL : 059-233-5610

E-Mail : rc@mcn.ac.jp



地域交流センター委員会委員

# 教員インタビュー

## まつだ ようこ 松田 陽子 地域連携特任助教 インタビュー

地域交流センターで地域連携事業を担当する松田陽子地域連携特任助教に、そのお仕事についてお聞きしました。

### 自らの視点の広がりとともに、「つながる」ことの大切さを再認識しています

#### Q1 どのようなお仕事をされていますか

地域連携事業の事務局として、主に看護研究に関する研修や、本学教員の専門性を活かした講義の調整、公開講座などの運営など、様々な仕事をしています。

#### Q2 地域の方のニーズに応えたり、看護の質向上をめざした研修に携わったり、といった今のお仕事はいかがですか

これまで、精神科の看護師や、精神看護学領域の教員としての学生への教育や、精神障がいをお持ちの方のご家族への支援などについて研究を行ってきました。つらい経験をした患者さんやその家族の中には、その経験を乗り越えて糧として、いきいきと生活される方がいらっしゃいます。そういった方の前向きな力の源泉はなんだろう、と考え研究してきました。

現在の仕事は、教育・研究の機関である本学が、医療機関・地域の皆さんと連携できるように、調整させて頂いています。病院や介護施設、自治会、NPOなどの具体的なニーズを聴かせて頂くことで、私自身の視野が広がったと感じています。以前、研究としていたときにも「つながる」ことの大切さを認識したのですが、この仕事でも、**本学と地域が「つながる」ことにより、お互いの可能性が広がるのではないかと**感じているところです。

#### 松田陽子 地域連携特任助教 プロフィール

平成16年3月 三重県立看護大学看護学部看護学科 卒業  
平成28年9月 三重県立看護大学大学院 看護学研究科看護学専攻 修士課程 修了  
三重県立こころの医療センター看護師、本学助手・助教(精神看護学)を経て、本年4月から現職



## 平成30年度公開講座

### 第2回公開講座を開催しました

11月11日(日)、「スポーツドクターから伝えたい女性のからだの基礎知識 PART 2」をテーマに第2回公開講座を開催しました。(共催：三重女性スポーツ指導者の会(公益財団法人三重県体育協会))

講師の高尾美穂先生(婦人科スポーツドクター)は、2年前の本学公開講座の際、参加者から大好評であったため再度ご講演頂きました。

多くの方々のニーズ「健康で、美しく、若々しく、強くありたい」に応え、「健康」「運動」「栄養」の各方面から豊富な話題提供で、約330人の参加者から「ぜひ活用したい」「非常に参考になった」などの声を頂きました。



### NHKハートフォーラム 第3回公開講座のお知らせ

平成31年1月に認知症予防をテーマとした講座の開催を企画しております。

(共催：NHK津放送局 NHK厚生文化事業団中部支局)

日時：平成31年1月12日(土) 11:00～12:30(受付10:25)

会場：三重県立看護大学 講堂(津市夢が丘1-1-1)

テーマ：認知症になりたくない!～認知症の予防対策を教えます～

講師：櫻井孝氏(国立長寿医療研究センターもの忘れセンター長)

お申込・お問い合わせ：event@rc@mcn.ac.jp TEL/FAX：059-233-5610(平日9:00～16:00)



櫻井孝氏



# 連携協力協定病院紹介

## 連携協力協定病院（三重県厚生農業協同組合連合会松阪中央総合病院）

平成26年5月に本学との協定を締結した三重県厚生農業協同組合連合会松阪中央総合病院様から、病院や看護部のめざす姿や教育プログラムについてお教えいただきました。



松阪中央総合病院

### 「看護の力」が実感でき、安心して長く働き続けられる職場環境づくりをめざして

松阪中央総合病院は、県内に7つの事業所（6病院と1診療所・老健）を有するJA三重厚生連の基幹病院です。JA三重厚生連は、地域医療の拠点として、安心して健やかに暮らせる地域づくりに貢献しています。

当院は、病床数440床、23診療科を有する急性期病院であり、地域の皆さまに信頼され、選ばれ愛される病院をめざし、救急医療やがんの最先端高度医療に力を入れています。

看護部では、「自分の受けたい看護」をキーワードに自分や家族、大切な人が病気になった時に受けたい看護を提供するよう努めています。また、職員のワークライフバランス推進にも取り組み、結婚や子育ての支援を整え、安心して長く働き続けられる職場環境づくりをめざしています。

「看護の力」が実感できること、それが仕事のやりがいにつながります。看護部では、看護実践能力を高め、自律した看護師となれるよう教育プログラムを準備しています。特に、看護師としての基礎をつくる新人教育では、きめ細やかな支援をしています。様々な経験が出来る急性期病院で、看護師としての基礎を築きましょう。

是非、インターンシップ、病院見学、就職説明会など病院に足を運んでいただき、当院の雰囲気や私たちの看護を見ていただきたいと思えます。

今後も、三重県立看護大学との連携をさらに深めることで、人材育成に努め、看護の質の向上を図りたいと考えています。

（看護部長 村林 恵子）



### 病院情報

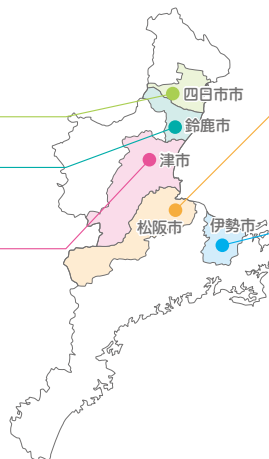
三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院 [昭和36年7月開設]

- ❖ 病床数：440床
- ❖ 診療科目：内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腎臓内科、呼吸器内科、脳神経内科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、リハビリテーション科、病理診断科（23科）

## 連携協力協定病院一覧

### 県内10病院

- 地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
- 三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院
- 三重県立こころの医療センター
- 独立行政法人国立病院機構 三重病院
- 三重県立一志病院



- 松阪市民病院
- 社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院
- 日本赤十字社 伊勢赤十字病院
- 市立伊勢総合病院

# 大学の出来事

## 大学の出来事

### 教育懇談会

9月8日(土)、保護者の皆さんと本学教員との教育懇談会を開催しました。学長、学生部長等から学生の修学や生活、就職状況について説明後、各ブースに分かれ保護者の皆さんと教員の個別面談を行いました。

参加された46組の保護者の皆さんからは「大変分かりやすい説明で安心した」等の声を頂きました。

今後もMCNレポートやホームページにより、学校の方針や取組を伝えてまいります。

9月8日(土)



### 県内病院等看護管理者意見交換会

9月18日(火)、看護・介護の第一線でご活躍中の管理者の方々35名と県の医療政策等の責任者をお招きし、本学学長との意見交換会を開催しました。

病院、行政、大学それぞれの立場を超えて、三重県における医療の現状、看護を取り巻く状況について活発な意見交換が行われました。また、働きやすい職場環境の整備などについて、幅広い情報共有を行うことができました。

9月18日(火)



### 国際看護実習Ⅱ

英国スコットランド グラスゴー大学との交換留学協定に基づき、9月24日(月)から2週間、4年生2名がグラスゴー大学で実習を行いました。学生は、グラスゴー大学での講義の受講や関連施設の見学を通じて、英国と日本の看護及び保健医療の違いについて学びました。

11月6日(火)に実施した実習報告会では、「日本の看護が完璧だと思っていたが、必ずしもそうではないということを学んだ。実習で得た学びを、看護師としてのキャリアに活かしたい」との、学生からの報告がありました。

なお、3月には3年生3名が、タイ王国マヒドン大学で実習を行う予定です。

9月24日(月)～  
10月7日(日)



### 出張みかん大 in 東紀州

10月8日(月・祝)、熊野市で「出張みかん大 in 東紀州」を開催しました。従前から本学で開催する「一日みかん大い生」の、初めての学外での開催です。

参加者の東紀州地域在住・在学の高校生12名は、三重県の保健医療の現状や看護職についての講義、本学学生とのフリートークの後、キャリアデザインワークショップ(グループワーク・発表)を行いました。

高校生からは、「ワークショップは初めてで、最初は戸惑ったけど、みんなの意見も聞ける良い経験になった。」などの感想がありました。

10月8日(月・祝)







# 法人化後初の「S」評価！ 平成29年度業務実績に関する評価結果

本学の設置団体である県の附属機関「三重県公立大学法人評価委員会」は、地方独立行政法人法に基づく本学の平成29年度業務実績評価を行いました。全体評価では「年次計画を計画どおり遂行しており、全体として中期計画を順調に実施していると認められる。」としています。

評点が付される項目は、前回評価では大項目は全て5段階中4で、「いわゆる『オール4』で手堅いが大学の特色がない（経営審議会意見）」ことが課題でしたが、今回は「地域貢献等」で最高ランク「S」評価されました。

本学は、今後も地域のニーズを踏まえ特色を打ち出し、さらなる質の向上に努めます。

## 【評価項目】

I 大学の教育研究等の向上に関する項目	1 教育に関する項目	教育研究の特性に配慮すべき項目（※）
	2 研究に関する項目	
	3 地域貢献等に関する項目	
II 業務運営の改善および効率化に関する項目		教育研究の特性に配慮すべき項目以外の項目
III 財務内容の改善に関する項目		
IV 自己点検・評価および情報の提供に関する項目		
V その他業務運営に関する重要項目		

（※）教育研究の特性に配慮すべき項目への評点付けはありませんが「年度計画を順調に実施していると認められる」と評価いただきました。

## 【教育研究の特性に配慮すべき項目（評点が付される項目）】

項目名	評価	S	A	B	C	D
I - 3 地域貢献等		○				
II 業務運営の改善および効率化			○			
III 財務内容の改善			○			
IV 自己点検・評価および情報の提供			○			
V その他業務運営			○			

S…特に優れた実績 A…順調に実施 B…概ね順調に実施 C…十分に実施していない D…大幅な見直し、改善が必要

## 10月16日(火) みかん収穫(法人化記念植樹「みえ紀南1号」)



平成21年4月に法人化を記念して玄関付近の丘に植樹された極早生の温州みかん5本（品種名「みえ紀南1号」）が今年も実りました。味は、学生からも好評でした。「大学」も「みかん」も成果が実りつつあります。



法人化記念植樹看板



みかんの木(8月撮影)



収穫(10月16日)



学生ホールにて

## さらなる発展と人材育成の充実に向けて ～学生の修学支援のための基金への寄附の報告とお願い～

本学では開学20周年を契機に学生の修学支援に活用するための基金を創設しましたところ、多くの皆さまからご厚志を賜っております。

### ◆平成30年11月末現在の状況

寄附総額 5,581,000円

寄附者数 個人 46人／法人・組織 12団体



この基金は、「みかん大進学支援給付金」の財源として、三重県の保健・医療に貢献する意欲があり、本学への進学目的及び意志が明確であるにもかかわらず、経済的理由により進学が困難な人への入学時の給付金に充てられます。継続的に安定した学生への支援を可能とするため、引き続き、皆さまの格別の御協力と御支援をお願い申し上げます。

**お問い合わせ先** 寄附に関すること：事務局企画総務課、給付金に関すること：事務局教務学生課



### 本学マスコットキャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大（みかんだい）」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。



### 学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



### 「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



公立大学法人

# 三重県立看護大学

〒514-0116

三重県津市夢が丘1丁目1番地1

TEL 059-233-5600(代)

FAX 059-233-5666

<http://www.mcn.ac.jp/>



広告



財) 日本医療機能評価機構認定病院  
地域医療支援病院  
社会医療法人畿内会



# 岡波総合病院

okanami general hospital



急性期から施設・在宅まで

さまざまな場面で看護に取り組んでいます。



〒518-0842 三重県伊賀市上野桑町1734番地 TEL:0595-21-3135(代)

URL : <https://www.okanami.com/>